



八戸

語学や文化学び 国際社会貢献へ

八学大の講義
光星高生が受講

八戸学院光星高の生徒が、八戸学院大などの講義を受ける高大連携事業が、同大で行われている。初日の12日は開講式が開かれ、同校ITコースと国際教養コースの2年生31人が、将来のためにしっかり学ぶことを誓った。

大学生と共に真剣な表情で授業を受ける高校生

同校と同大、同大短期大学の3校による連携事業は2018年度から毎年行われており、教育の力で地域や国際社会に貢献する人材を育成するのが狙い。

高校生は本年度、中国文化と韓国文化の海外事情について学ぶ、毎週1回の講義を計15回受ける予定。全て

受講すると、同大に進学した際、単位を取得したものととして扱うという。

開講式では、同大の一戸利則学長補佐が「将来の夢を実現するため、広い視野を身に付ける時間にしてほしい」とあいさつ。高校生を代表し、大西雄大さんが「語学や文化を学び、将来の進路に生かしたい」と誓った。

高校生はこの後、大学生と共に受講。90分の授業を真剣な表情で受けた。

（藤村大地）